

安倍暴走政治ストップ! 政治を変えたいと願う一票は

中野たけしと日本共産党へ



1974年鈴鹿市生まれ。鈴鹿市立天栄中学、津高校、都留文科大学卒。現在、党北勢地区委員長

政策の詳細はホームページで

JCP 検索

なかの 中野たけし 40歳

5つの転換で国民の声が生きたる政治を

①消費税に頼らない別の道を

大企業・富裕層に自分の負担を求める税制改革、大企業の内部留保を活用して国民の所得を増やす経費控除で、社会保障充実、財政再建は可能です。

②安定した雇用と賃上げ等、国民所得を増やして経済を立て直します

労働者派遣法の抜本改正で、正社員中心の雇用に転換。●社会保険料の事業主負担軽減等の直接支援で、中小零細業で働く労働者も含めた賃上げ政策を。●年金引き上げなど社会保障の充実。●過剰米の市場隔離、今年度の米直接支払い交付金の半減措置撤回等の米価暴落対策、TPP交渉からの即時撤退

③「海外で戦争する国」づくりはノー

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」撤回、特定秘密保護法を廃止します。

④原発再稼働を許さず「原発ゼロ」へ転換します

⑤沖縄の新基地建設中止。沖縄と連帯して基地のない沖縄を

企業・団体献金禁止、政党助成金の廃止を

日本共産党は、侵略戦争反対を貫き、平和と民主主義を守ってきた政党です。政党助成金も企業献金ももたらさない清潔な党で、国民の願いに本当に応えることができる政党です。日本共産党を伸ばして、一緒に政治を変えていきましょう。

比例代表は

日本共産党と

お書きください

消費税10%への増税は、先送りではなく、キツパリ中止を

アベノミクスの効果は確実に表れています

未来へ 景気回復の実感を地方に必ず届けます!

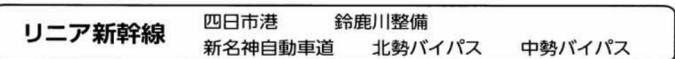


地域を取り戻す経済対策

- 地域経済を支える中小企業・小規模事業者へのきめ細かい支援を行い、地域に仕事と雇用を創出します。
○農産物の輸出、観光誘致、稼げる地域資源の国内外の市場開拓を様々な形で徹底的に支援します。

暮らしと仕事を守るインフラ整備

- 経済の活性化・防災対策の観点から、地域に本当に必要なインフラはしっかりと整備します。



安心・豊かな生活を約束する福祉・教育施策

- 持続可能な社会保障制度を確立します。
○25年度～29年度末までの間に40万人の保育の受け皿を用意します。
○未来を担う子どもたちが質の高い教育を受けられる社会を実現します。

2年間の実績 自民政権でインフラ整備が大幅に進捗しました

- 鈴鹿川改修・維持事業 24年度当初予算の約3.2倍 約26億円
●中勢バイパス 24年度当初予算の約1.8倍 約120億円
●北勢バイパス 24年度当初予算の約1.8倍 約30億円
○中勢バイパス第5工区(鈴鹿・稲生区域1.8km)異例の一年前倒しで開通。
○第7工区(鈴鹿・津工区2.9km)は平成30年度に完成予定。
○全区間完成時には実に渋滞の90%減が見込まれます。

鈴鹿川は60cmの水位低下 洪水被害を未然に防ぐ

H24年度補正予算以降、大規模な河床掘削と樹木伐採を実施した結果、最大で約60cmの水位低下効果を発揮しました。H26年8月の台風では、鈴鹿川流域の加太観測所の総雨量527mmを始め、各所で記録的な雨量が観測されましたが、河川掘削をしていなかった場合、鈴鹿川が氾濫していた可能性が極めて高く、もし氾濫していたら被災人口約36,800人、約3,500億円の被害が出ていたとの試算が出ています。

アベノミクス第2章 地域経済再生へ



島田よしかず プロフィール

昭和45年5月8日 神奈川生まれ、鈴鹿市在住。家族構成:妻、2男1女。主な役職:自民党経済産業副部長、自民党外交部副部長。学歴:私立開成高校、ユタ州立大学。主な経歴:(株)ワーナーミュージック、レッドブルジャパン(株)を経て、平成24年衆議院選挙初当選。

自由民主党 公認

しまだ 島田よしかず 44歳

中川の挑戦 ゆるぎない未来へ。真の経済政策は、社会改革から。

10年、20年先を見据えた改革で人口減少ストップにチャレンジ。凝り固まっている社会の仕組みを動かします。

子育て雇用

人への投資、子どもが育つ環境づくりを ●派遣など非正規労働の見直しと、同一労働同一賃金の保障措置などで、安心できる労働環境を実現する。過労死等防止対策推進法に基づいた施策を推進、誰もが心身ともに健康に働ける環境を整備。 ●子ども手当、幼児保育無償化、学校教育の無償化、待機児童の解消など、希望する人が安心して子育てできる環境をつくる。

国をひらく

人と資金が集まる魅力的な国づくりを ●海外企業の日本国内への直接投資を推進する環境、優秀な人材の日本への受け入れ環境を整備し、国をひらいて国内にダイナミズムをつくる。日本の産業空洞化を解決するためにも、企業と人に対する国の開き方と国内体制の整備を定める基本法成立を目指す。

地域再生

地域に人、モノが集まる仕組みづくりを ●地方で本社を持つことが税の減免になる地方誘導施策の導入。本社誘致や外国企業誘致を前提にした地方都市のインフラ整備計画を進めることで地域の活性化を図る。 ●医療と介護を連携させ、地域包括ケアシステムの構築を推進。 ●地域参加型学校運営組織(コミュニティスクール)の推進。 ●地域レベルのきめ細かな防災計画を構築。

外交安保

軍事力より外交力が大事 ●専守防衛に徹する。憲法改正で専守防衛規範を明記し、関連法で、自衛隊の国際貢献の規範を明文化。 ●日中、日韓の国民の間で相互理解を深める外交努力を行う。日韓、日中の共通歴史教科書の制作を推進。 ●拉致問題ほか、北朝鮮政権の人権侵害も含めて、国際的な連携を作り多国間、全方位で、北朝鮮の非道と戦う。 ●日本在住のミャンマー少数民族の難民とともに、ミャンマーの少数民族地域への支援を通じ、軍事政権と少数民族間の和平プロセスに関与していく。 ●国際日本語翻訳機構の立ち上げを準備。日本語の書籍を各国語に翻訳し電子媒体に乗せ、日本文化の世界への発信体系を構築。

技術開発

技術開発資金の流動化とエネルギー開発 ●企業から大学や研究機関との共同研究のために流れる資金を、今の400億円から3兆円レベルへ。民間資金と人材を大学や研究機関と組み合わせるオープンイノベーションを進める。 ●再生可能エネルギーへの転換を促進、2030年代に原発ゼロをめざす。



中川まさる

昭和25年6月10日三重県生まれ。三重県立津高等学校卒業。米田ジョージタウン大学国際関係学卒業。三重県議会議員に初当選。以降3期連続当選。第41回衆議院選挙において三重県より初当選以降、連続当選。文部科学大臣に就任(野田内閣)。内閣府特命担当大臣(防災)「新しい公共」男女共同参画少子化対策に就任(野田改造内閣)。民主党幹事長代行に就任。民主党次の内閣-文部科学大臣に就任。

民主党公認 中川まさる

第47回衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日は**12月14日(日)**

投票の方法

小選挙区選挙 は **候補者氏名** を記入します。

比例代表選挙 は **政党等名** を記入します。

最高裁判所裁判官国民審査 は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に×を記入します。
やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

【期日前投票】 12月13日(土)まで

※12月14日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、期日前投票をしましょう。

「日本の将来 創るのは あなたの一票」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



『いっぴよん』

三重県選挙管理委員会